

犠牲者ゼロを目指した住民力の強化による
安全安心なまちづくり方策に関する調査
(その 2 : 新潟市における社会実験等)

報 告 書

平成 21 年 3 月

国土交通省 都市・地域整備局 都市・地域安全課

新 潟 市

目 次

第1章 調査概要	1
1-1 調査の背景	1
1-2 調査の目的	1
1-3 調査の内容	1
第2章 安全安心に対する市民意識・ニーズの把握	4
2-1 災害・犯罪に関する国民意識	4
2-2 地域コミュニティの状況の変化	6
2-3 新潟市における安全安心なまちづくりに関する取組み状況	10
2-4 市民アンケート調査	21
第3章 モデルコミュニティにおける住民力の強化のための社会実験等の実施	48
3-1 社会実験の概要	49
3-2 社会実験の実施	50
3-3 社会実験の結果と課題	61
第4章 住民力の強化による安全安心なまちづくり方策	70
4-1 新潟市における安全安心なまちづくりモデルの概要	70
4-2 安全安心なまちづくり新潟モデルの展開における留意点	73
第5章 今後の課題と展望	80
5-1 住民力の強化による安全安心なまちづくりの課題と展望	80
5-2 新潟市のまちづくり施策としての課題と展開	82
第6章 安全安心なまちづくりのための調査検討委員会	84
6-1 検討委員会	84
第7章 調査プロセスと成果の情報発信	86
7-1 ホームページによる情報発信	86
7-2 「安全安心なまちづくり推進フォーラム」の開催	87
付 検討委員会提言書	98

第1章 調査概要

1-1 調査の背景

近年、自然災害、犯罪被害、環境、心身の健康、子育て、介護、食の安全の問題など、市民生活を取り巻く様々な不安が広がっており、「人々が安全に安心して暮らせる社会」の構築が喫緊の課題となっている。特に、同時に多くの人に被害が及ぶ自然災害が発生した場合には、人と人が助け合い、支え合う地域コミュニティが果たす役割は重要であるとの指摘がこれまでもなされてきたところであるが、従来型の地域コミュニティは、個人意識の高まり、核家族化、少子高齢化の進展と相まって急速に空洞化が進んでいる。

一方で、社会の成熟化、社会への貢献意識の高まり等により、NPO、企業、住民団体等の多様な主体によるボランティア活動等の広がりがみられており、災害時等においても防災に向けた取組みを、自らあるいは共に進めていく「自助」、「共助」を促進していくことが期待されている。

安全安心なまちづくりを進めていく上で、ハザードマップなどの災害リスク情報が重要な役割を果たすことが期待されることから、適切な災害リスク情報の提供のあり方やそれを踏まえた住民力強化による安全安心なまちづくり方策の検討が重要となっている。

1-2 調査の目的

本調査は、新潟市をモデルとして、安全安心なまちづくりに対する市民意識・ニーズを把握するとともに、安全安心を軸として住民力を強化し、安全で安心なまちづくりに向けた実現化方策の検討と犠牲者ゼロを目指した安全安心なまちづくりモデルの構築を目的とする。

1-3 調査の内容

本調査は「犠牲者ゼロを目指した住民力の強化による安全安心なまちづくり方策に関する調査（その1：災害リスクに関する情報整理等）（以下、「調査その1」という。）」と「犠牲者ゼロを目指した住民力の強化による安全安心なまちづくり方策に関する調査（その2：新潟市における社会実験等）（以下、「調査その2」という。）」の二つの調査の連携により実施したものである。

1-3-1 調査その1の内容

（1）災害リスクと土地利用の関係の分析

新潟市を対象として、水害、地震等のハザードマップ等の災害に関する情報や市街化区域、人口集中地区の範囲、高齢化率や昼夜間人口比率、公共施設や社会福祉施設の配置等の土地利用に関する情報を収集整理し、地図上での情報の重ね合わせ等を行うことにより、災害リスクと土地利用の関係について分析した。

（2）安全安心に対する市民意識・ニーズの把握

多様な主体の連携により行われている安全安心なまちづくりに関する取組み事例を収集す

る。また、アンケート調査（3 地域）により、地域住民が主体となった災害対策の取組みを行っている地域の安全安心に対する市民意識・ニーズについて把握した。

1-3-2 調査その2の内容

（1）安全安心に対する市民意識・ニーズの把握

新潟市民の安全安心に対する市民意識・ニーズを把握するためにアンケート調査を実施し、その結果を調査その1における3都市（仙台市・浜松市・四日市市）での結果と比較した。

（2）モデルコミュニティにおける住民力の強化のための社会実験等の実施

新潟市をフィールドとして、地域の多様な主体の参画による安全安心なまちづくりをテーマとした社会実験（ワークショップ）を開催し、安全安心なまちづくりの実現に向け、地域コミュニティ自らが課題を解決していく仕組みとしての行動計画を作成した。社会実験では調査その1の結果の災害リスク情報やアンケート結果を活用した。

（3）安全安心なまちづくりのための調査検討委員会の開催

有識者による検討委員会を設置し、犠牲者ゼロを目指した住民力の強化による安全安心なまちづくり方策について検討を行い、提言書としてとりまとめを行った。

（4）安全安心なまちづくりへの意識や市民主体の価値観を醸成するための課題や方策の検討

アンケート調査結果や社会実験を通して、安全安心なまちづくりへの意識や市民主体の価値観を醸成するための課題や方策の検討を行い、住民力の強化による安全安心なまちづくり新潟モデルの検討を行った。

（5）調査プロセスと成果の情報発信

安全安心をテーマとしたフォーラムを開催し、結果の情報発信を行った。